

病院概要

令和4年度



鶴岡市立荘内病院

〒997-8515 山形県鶴岡市泉町4番20号

ヒポクラテスの木



ヒポクラテスは、紀元前460年にエーゲ海のコス島（ギリシャ）に生まれた医師で、当時、呪術（まじない）や占星術（星うらない）等によって行われていた原始的な医術に対して、経験・観察・記録が医学に必要であると唱え、また「ヒポクラテスの誓」を記述して医の倫理を説き、「医聖」として全世界の医師に尊崇されています。

彼は晩年、故郷コス島のプラタナス（鈴懸けの木）の下で弟子達に医学を講義したと伝えられ、現在もなお存在するコス島のこのプラタナスを「ヒポクラテスの木」と称し、島民が大切に保存しています。

医聖ヒポクラテスを慕ってコス島を訪れた故篠田秀男医師は、ヒポクラテスの木の種子を持ち帰り篠田株を作りました。県立鶴岡盲学校（現在の県立鶴岡高等養護学校）にこの篠田株から分けられたヒポクラテスの木があり、この木から挿し木によって分けられた苗木を、昭和52年、旧病院医師専用駐車場脇に植樹しました。新病院への移転に伴い移植され、現在は病院正面のポケットパークで青葉を茂らせ年輪を刻んでいます。

荘内病院ではヒポクラテスの「医の心」を病院職員の心とし、日常に戒めとすべくヒポクラテスの木の葉をシンボルマークに定め、受診券などに使用しています。

荘内病院の概要 ——— 令和4年度

目次

• 病院憲章／基本理念／臨床倫理	2
• 概要／施設基準の主な届出事項／教育指定・施設認定の状況	3
• 病院の沿革と現況	4
• 診療圏域図	7
• 病院の組織機構	8
• 職員数／入院棟別病床数	9
• 各階構成図と平面図	10
• 科別患者数（入院／外来）	12
• 科別救急患者数	12
• 科別手術件数（手術センター）	13
• 調剤等の状況	14
• 給食の状況	15
• 臨床検査件数	16
• 病理検査件数	16
• 輸血関係件数	16
• 内視鏡実施件数	16
• 放射線撮影・治療・検査人数	17
• リハビリテーション件数	17
• 人工透析患者数	17
• 出生児数、分娩件数等	17
• 科別解剖件数	18
• 科別医療相談件数	18
• 訪問看護件数	18
• 紹介率・逆紹介率	18
• 人間ドックの状況	19
• 主な医療機器	20
• 年度別決算状況	21
• 経営分析／財務分析	23
• 外来診療の現況	25

病院憲章

高度・良質な医療と心のこもった患者サービスで
地域医療を担う基幹病院

基本理念

- (1) 診療圏域住民の生命と健康を守り、高度かつ良質な医療を提供し、地域医療機関との機能連携を強化しながら、基幹病院として地域医療の充実に努める。
- (2) プライバシーの尊重とアメニティの向上に配慮し、患者が安心と満足が得られる、快適な療養環境の整備に努める。
- (3) 医師や看護師をはじめ、病院で働く職員が一致協力し、心のこもった患者サービスの向上に努める。
- (4) 医療従事者の教育と臨床研修を重視し、市民から信頼され、地域医療に貢献できる、質の高い医療人の育成に努める。
- (5) 医療環境の変化に対応できる経営方針を確立し、安定した経営の基盤づくりに努める。

臨床倫理

- (1) 患者さんの人権、価値観を尊重し、患者さん本人の協力のもと、有効で安全な医療を提供します。
- (2) 個人情報保護と職務上の守秘義務を守り、患者さんの立場に立った医療を実践します。
- (3) 終末期医療、延命治療等生命の尊厳に関する問題や医療行為の妥当性等倫理的問題を含む医療行為については、倫理委員会の審議結果に従い、質の高い医療を目指します。
- (4) 臓器移植に該当する場合については、家族の心情に十分配慮し、法令及び当院のマニュアルに基づき適切に行います。
- (5) 質の高い医療を効率よく提供することにつとめ、地域医療を守り、鶴岡市とともに発展する病院を目指します。

概要

名称	鶴岡市立荘内病院
所在地	山形県鶴岡市泉町4番20号
敷地面積	31,842.41㎡
建物延面積	54,728.13㎡ (本館39,549.25㎡ 駐車場棟14,621.47㎡ 機械棟258.50㎡ 正面入口自転車駐輪場238.85㎡ 北出口自転車駐輪場45.46㎡ ガス・ガバナー庫14.60㎡)
病院事業管理者	八木 実
院長	鈴木 聡
診療科	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、漢方内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、 脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、 耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科 以上26科
病床数	521床 (うちNICU6床、人間ドック10床)
職員数	863名 (令和4年4月1日現在 会計年度任用職員含む)
診療指定	昭和33年 未熟児養育医療機関の指定 平成15年 臨床研修病院の指定 昭和36年 原子爆弾被爆者一般疾病医療機関の指定 平成20年 地域医療支援病院の承認 昭和44年 救急告示医療機関の指定 平成22年 山形県地域周産期母子医療センターの認定 平成8年 エイズ治療拠点病院の指定 山形県がん診療連携指定病院の指定 平成12年 災害拠点病院 (地域災害医療センター) の指定 平成25年 山形DMAT指定病院の指定

施設基準の主な届出事項 (令和4年4月現在)

- 初診料(歯科)の注1に掲げる基準
- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算1
- 一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1)
- 総合入院体制加算3
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1(20対1)
- 急性期看護補助体制加算(50対1)
- 看護職員夜間配置加算(16対1)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 感染対策向上加算1
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 後発医薬品使用体制加算1
- 病棟薬剤業務実施加算1及び2
- データ提出加算2
- 入退院支援加算1
- 認知症ケア加算1
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算
- 排尿自立支援加算
- 地域医療体制確保加算
- ハイケアユニット入院医療管理料1
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 新生児治療回復室入院医療管理料
- 小児入院医療管理料2
- 短期滞在手術等基本料1
- 入院時食事療養/生活療養(I)
- 外来栄養食事指導料の注2、注3に規定する基準
- 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算
- 喘息治療管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1
- 外来腫瘍化学療法診療料1
- 連携充実加算
- ハイリスク妊産婦共同管理料(I)
- がん治療連携計画策定料
- 外来排尿自立指導料
- ハイリスク妊産婦連携指導料1
- 薬剤管理指導料
- 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料1
- 歯科治療時医療管理料
- 在宅患者訪問看護・指導料の注2
- 在宅患者訪問褥瘡管理指導料
- 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
- 持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
- 遺伝学的検査
- BRCAL/2遺伝子検査
- 先天性代謝異常症検査
- H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算(IV)
- 遺伝カウンセリング加算
- ヘッドアップティルト試験
- 神経学的検査
- 小児食物アレルギー負荷検査
- 内服・点滴誘発試験
- C T 撮影及びMR I 撮影
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料(I)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
- 運動器リハビリテーション料(I)
- 呼吸器リハビリテーション料(I)
- 摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1
- がん患者リハビリテーション料
- 人工腎臓
- 導入期加算2及び腎代替療法実績加算
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
- 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- 胆管悪性腫瘍手術(膽頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 体外衝撃波波・尿管結石破碎術
- 膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術)
- 周術期栄養管理実施加算
- 輸血管理料 I
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 麻酔管理料(I)
- 歯科麻酔管理料
- 遠隔放射線治療計画加算
- 高エネルギー放射線治療
- 病理診断管理加算1
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 口腔病理診断管理加算1
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 酸素の購入単価

教育指定・施設認定の状況 (令和4年7月現在)

- 日本循環器学会循環器専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度(新生児・母体・胎児)指定研修施設
- 日本脳神経外科学会専門医関連施設
- 日本小児科学会専門医研修施設
- 日本小児外科学会教育関連施設B
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本泌尿器科学会専門医関連施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
- 日本口腔外科学会認定准研修施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- 日本アレルギー学会認定教育施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本手外科学会基幹研修施設
- 日本臨床衛生検査技師会精度保証施設
- 病院機能評価認定(3rdG Ver.2.0)
- NCD施設(National Clinical Database)
- 日本脳卒中学会研修教育施設
- 日本神経学会専門医制度准教育施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本病態栄養学会・日本栄養士会認定がん病態栄養専門管理栄養士研修実地修練施設
- 日本認知症学会教育施設
- 母体保護法指定医師研修機関
- 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設B
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- ペインクリニック専門医指定研修施設
- 日本脊椎髄痛病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- 日本小児外科学会教育関連施設B
- 日本臨床神経生理学学会認定施設
- 一次脳卒中センター(PSC)
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本東洋医学会研修施設
- 日本歯科麻酔学会研修機関



病院の沿革と現況

庄内病院は、大正2年（1913年）に、東田川郡、西田川郡組合立の病院として、当時の鶴岡町に創設され、平成25年6月には創立100周年を迎えた歴史ある病院です。

創設当時、診療科目は、内科、外科、産婦人科、眼科の4科で、病棟は2棟50床を有し、当時の庄内地方ただ一つの総合病院でした。大正11年、県と市町村の中間に位置していた郡行政が廃止され鶴岡町に移管、同13年の市制施行に伴い市立病院として経営されるに至りました。

開設当時の職員は、医師、薬剤師、看護婦、事務員など総勢48人、医局の陣容は、現在の東京大学や東北大学の出身者が主力で、町立時代には慈恵医科大学、市立時代に入り九州大学系へと変遷しています。

昭和に入り太平洋戦争が激しくなると、医師や看護婦、放射線技師にいたるまで戦場に出征したことで、欠員補充が思うにまかせず、病院の運営は極めて難しくなりました。幸い戦禍を逃れ東京から疎開した日本医科大学に経営をゆだねることができ、戦時中の厳しい医療環境を切り抜けることができました。

終戦後まもなく、不安定な社会情勢と占領下で、医療制度も多方面にわたり改革され、更なる多難な時期を迎えますが、昭和22年に日本医科大学が東京に戻った後は、新潟大学の全面的な支援を受けて運営されたことにより困難を乗り切ることができました。

病院の建物は戦前から幾度か増改築しましたが、それは主として病室を増やすものでした。創立以来相当の年月を経て施設が老朽狭隘になったことから、昭和28年、新館建設に着手しました。それまで黄色い木造外壁の洋風建物であった病院本館と古い病舎を解体し、14年をかけて昭和42年に重厚な建物が完成しました。

昭和40～50年に外来診療棟、放射線棟、手術室等を増改築し、内視鏡室、人工透析室を新設、また、平成2～3年には病棟を新設するなど、急速に進歩する技術革新と医療需要の増加に対応すべく、更なる増改築を繰り返してきました。しかし、全体的な建物老朽化の問題や、総合的な診療機能の整備・充実のため、昭和63年から「庄内病院将来構想検討委員会」を設置し、新病院建設に向け新たな準備を進めました。

平成15年7月1日、将来構想検討から15年、基本計画から4年、実施設計・着工から3年を経て地上10階建て鉄筋コンクリート造一部鉄骨造の新病院を新築、移転しました。新病院は災害拠点病院として、屋上に6tまでの防災ヘリコプターが使用できる飛行場外離着陸場を有し、地下には免震構造を備えています。院内には、集中治療センターや新生児治療センター、手術センター、救急センター、血液浄化療法センターを設置し、設備面では、統合医療情報システム（S-HIS）の導入のほか、ライナック、MRI、マルチスライスCT、血管造影X線撮影装置、結石破碎装置などの最新鋭装置を新たに整備し、高度医療の充実を図っています。



平成19年に旧病院建物を解体し、鶴岡市立荘内看護専門学校が唯一その敷地内において名残をとどめています。荘内看護専門学校と、実習病院として連携することによって、看護師養成に貢献しています。

また、同年には、地域への緩和ケア普及を目的とした厚生労働省「第3次対がん総合戦略研究事業」(平成20～22年度)に、鶴岡市が全国4地域のうちのひとつに選ばれました。これに伴い、がん患者に対する「緩和ケア」に関して、地区医師会・薬剤師会等と荘内病院により「庄内プロジェクト」を整備、医療従事者のための研修会・ワークショップや、市民公開講座などにより、周知・広報に努めました。平成23年度からは、「南庄内緩和ケア推進協議会」を設立し、事業を継続しています。

院内には、緩和ケアサポートセンターを立ち上げ、がんに伴う痛み、心の悩み、療養場所や医療のことなど、患者さんやご家族が直面するさまざまな問題を解決する相談窓口となりました。

また、それぞれの専門職が、それぞれの領域で役割と責任を果たし、医療の質と患者のQOLを向上させるチーム医療を推進しています。

平成20年度には、地域医療連携を積極的に行う地域医療支援病院として県に承認されました。住民の身近な所で医療を提供する「かかりつけ医(歯科医)」との連携や支援を推進しています。

また、同年度には、医療安全管理室を設置し、医療安全や感染対策等を推進するとともに、平成29年度には医療安全管理部を新設し体制の充実を図りました。

平成22年4月には、24時間体制で新生児医療に対応できるとともに、出産にかかわる高度な医療を行うことができる施設として周産期母子医療センターを設置し、庄内地域唯一の「山形県地域周産期母子医療センター」として認定を受けました。

さらに、同年10月には山形県のがん医療水準の向上を図り、県民に安心して質の高いがん医療を提供するために、県指定の「がん診療連携指定病院」となりました。

医療を取り巻く環境が、非常に早いスピードで変化し、これまで以上に効率的・効果的な事業運営が求められているため、平成22年度から、地方公営企業法の一部適用から全部適用へ移行しました。

平成29年4月には、国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点が開所、さらに令和2年7月には、地域医療への貢献と当市におけるがん医療の高度化を図るため、国立がん研究センター東病院と医療連携に関する協定を締結するなど、関係機関等と共に研究活動を実施しております。

荘内病院は、庄内地方南域の人口約149千人を抱える地域を、主な診療圏域としています。公的中核病院として、地域の医療機関と機能を分担することで、病連携・病診連携を図りながら、総合的に水準の高い良質な医療を積極的に提供する役割を、これからも継続していきます。

沿 革

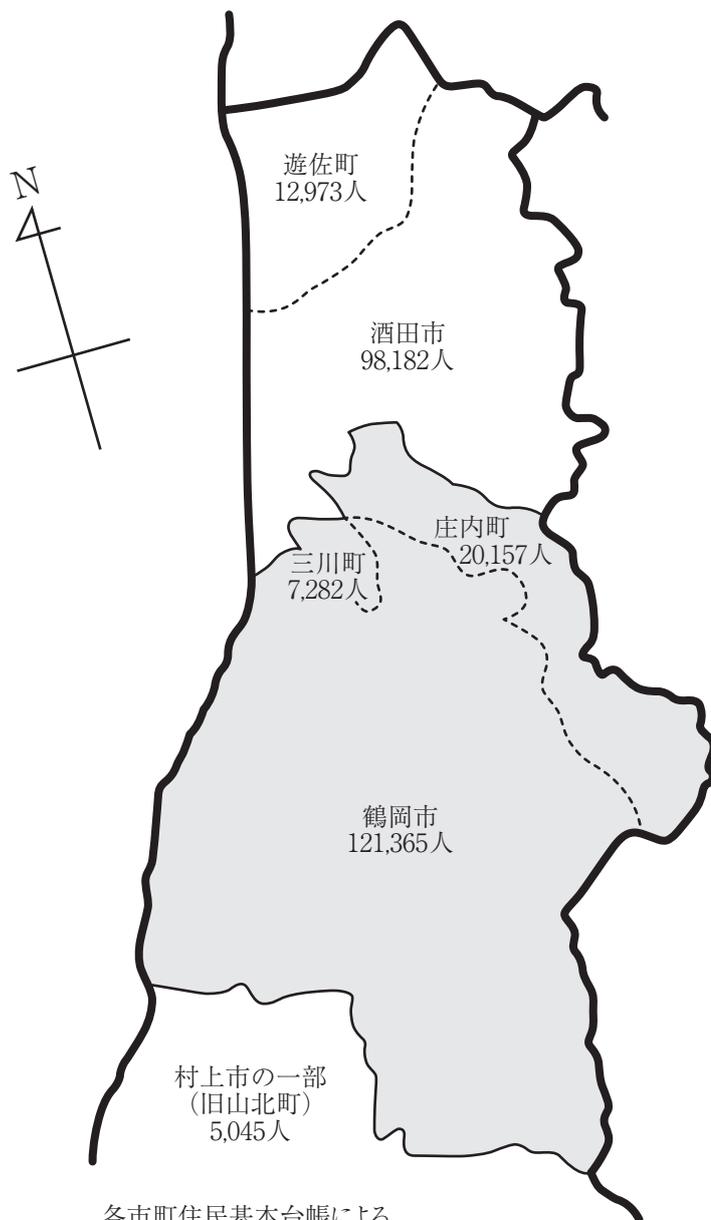
年 月	事 項	年 月	事 項
大正 2年 6月	東田川郡、西田川郡組合立の病院として外来診療開始（内科、外科、産婦人科、眼科50床）	平成 8年 6月	エイズ治療拠点病院の指定
大正 11年 4月	郡組合解散、病院を鶴岡町に引き継ぐ。	11月	全科で予約診療を開始
大正 13年10月	市制施行により、鶴岡市立荘内病院となる。	平成 9年 4月	看護部に物流管理室を設置 医療部薬剤科を薬局に変更
昭和 20年 7月	日本医科大学が鶴岡に疎開 荘内病院は同大学へ経営を委託し、日本医科大学 附属荘内病院となる。	6月	産婦人科で不妊治療としての「体外受精」を開始 「医薬分業」を全診療科で実施
昭和 22年11月	病院経営を市直営に復する。	平成 10年 4月	庶務課に企画財政係、医事課に情報管理係を新設
昭和 25年 3月	甲種看護婦養成所を開設	7月	新看護2：1体系の全病棟承認実施
昭和 26年 4月	甲種看護婦養成所を荘内病院高等看護学院とする。	平成 11年12月	伝染病床廃止に伴い7床を一般病床に転換 529床→536床
昭和 32年 7月	総合病院の指定	平成 12年 3月	災害拠点病院（地域災害医療センター）の指定
昭和 33年	未熟児養育医療機関の指定	9月	新病院本体建設工事に着手
昭和 36年	原子爆弾被爆者一般疾病医療機関の指定	平成 15年 3月	新病院本体が完成する。
昭和 39年10月	基準寝具を実施	7月	新病院を開院（24診療科、病床数520床） 事務部庶務課を総務課に変更
昭和 43年 7月	中央カルテ方式を採用		電子カルテを中心とした統合医療情報システムを 導入
昭和 44年 4月	救急告示病院の指定	10月	臨床研修病院の指定
昭和 46年 5月	病理科を新設	平成 16年 4月	急性期入院加算の取得
昭和 47年 7月	特類看護を実施	平成 17年 4月	事務部に経営対策室を設置
昭和 50年 4月	特2類看護を実施	10月	市町村合併により、新たに開設許可を受ける。
昭和 51年 4月	医療社会事業室を開設、ケースワーカーを配置 高等看護学院を改組し、市立荘内看護専門学校となる。	平成 18年 4月	一般病棟10対1入院基本料承認実施
昭和 53年 1月	人工透析を開始（12台）	平成 19年 1月	病院機能評価認定（ver.4.0）
昭和 54年 5月	全身用CTスキャナシステム設置稼動を開始	平成 20年 4月	DPC対象病院の指定
昭和 55年 2月	業務課窓口計算事務及びレセプト作成事務の電算 化を実施		医療安全管理室を設置
7月	夜間透析を開始		緩和ケアサポートセンターを設置
昭和 56年 9月	重症者の看護及び収容の基準実施承認（20床）	11月	外来化学療法室を設置
昭和 57年10月	食療科優良集団給食施設として厚生大臣表彰	12月	地域医療支援病院の承認
昭和 60年12月	業務課の電算機器を更新し、医事請求事務を全面 自己処理に改善する。	平成 21年 5月	ペインクリニック外来を設置
昭和 61年11月	医療用ライナック（放射線治療機器）を導入	平成 22年 4月	地方公営企業法全部適用へ移行 地域周産期母子医療センターを設置
昭和 62年 4月	呼吸器外科、心臓血管外科を標ぼう		給食調理業務、施設維持管理及び営繕 業務の全面委託化
昭和 63年10月	透析給食を開始		山形県地域周産期母子医療センターの認定
11月	来院者駐車場を有料化 CTを更新、1台増設	6月	新生児特定集中治療室管理料2の取得
平成 元年 6月	病棟、外来待合室に冷房設備を新設	10月	山形県がん診療連携指定病院の指定
7月	給食の選択メニューを部分的に開始	平成 24年 4月	病院機能評価認定（ver.6.0）
	病院前駐車場を拡張	6月	一般病棟7対1入院基本料承認実施
平成 2年 4月	経営企画室を設置 市立荘内看護専門学校の入学定員を15名から20名 に改正する。 市立荘内看護専門学校、創立40周年を迎える。 病床変更 475床→477床	平成 25年 3月	山形DMAT指定病院の指定
8月	基準看護特3類 3病棟132床承認実施	6月	創立100周年を迎える。
10月	内科外来の予約制を実施	平成 26年 3月	病床変更 520床→521床
平成 3年 4月	MRI（磁気共鳴撮影診断装置）を導入	10月	病理診断科を標ぼう
9月	病棟を増設し529床に増床承認実施	平成 27年 2月	CT（320列）撮影装置更新
平成 4年 3月	シネアングロ（心臓血管連続撮影装置）を導入 基準看護特3類 4病棟187床承認実施	5月	統合医療情報システム更新
平成 5年 6月	週休2日制を完全実施	6月	新医師公舎完成（馬場町）
平成 6年 4月	事務部業務課を医事課に変更 訪問看護室を設置	平成 28年12月	ハイケアユニット入院医療管理料1の取得
12月	結核病床5床を廃止、一般病床数を529床に	平成 29年 1月	病院機能評価認定（3rdG Ver.1.1）
平成 7年 3月	特3類基準看護 全病棟承認実施	3月	中期経営計画（新公立病院改革プラン）を策定 放射線治療機器（ライナック）を更新
平成 8年 4月	事務部医事課業務の一部委託を実施 新病院建設準備室・地域医療室・臨床工学室を設置	4月	医療安全管理部を設置 消化器病センターを設置
平成 8年 6月	物品管理システムを導入、医薬分業を実施 （小児科・耳鼻科・形成外科・産婦人科）	令和 元年 9月	MRI（1.5T）を更新
		令和 2年 3月	MRI（3.0T）を更新
		7月	国立がん研究センター東病院と医療連携協定を締結
		11月	がん相談外来を開始
		12月	遺伝子検査室を設置
		令和 3年10月	漢方内科を標ぼう
		令和 4年 1月	病院機能評価認定（3rdG Ver.2.0）

診療圏域図

当院の診療圏は、立地条件及び患者の利用状況からみて、当市と当市に隣接する三川町、庄内町を含む1市2町（人口約149,000人）が主診療圏で、酒田市、遊佐町及び新潟県村上市の一部（旧山北町）2市1町（人口約116,000人）が準診療圏である。診療圏域図及び主診療圏の医療機関の状況は下記のとおりとなっている。

- 主診療圏
- 準診療圏

【診療圏域図】



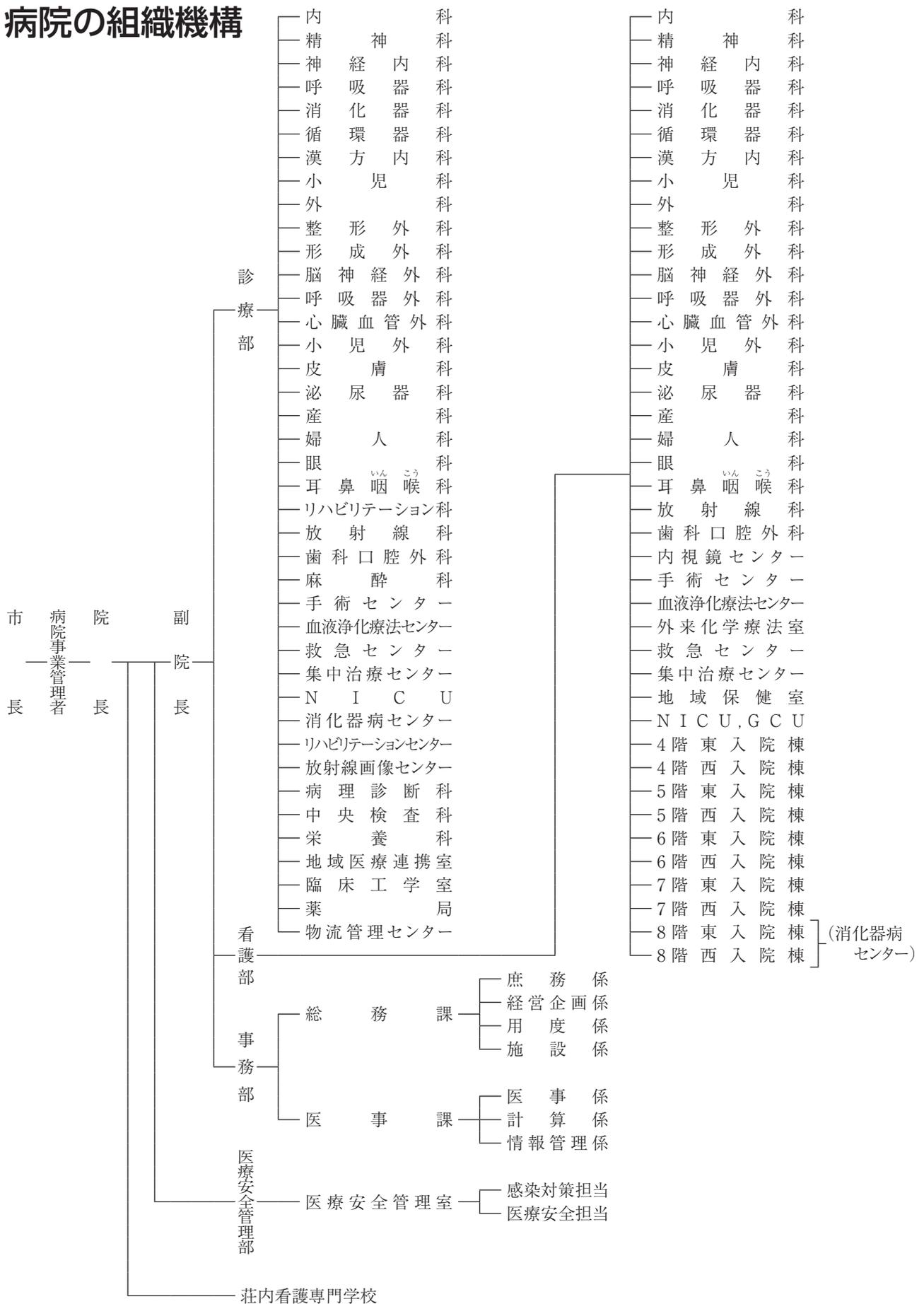
【医療機関の状況】

区 分	主診療圏
区 域	1市2町
医療機関（病院）	8
〃（診療所）	119
病 床 数	1,769

各市町住民基本台帳による

令和4年3月31日 現在

病院の組織機構



職員数

令和4年4月1日現在

職 種 等		人 数	職 種 等		人 数
病院事業管理者		(1)	医療技術員	臨床心理士	1
医師		73		精神保健福祉士	1
歯科医師		4	看護職員	看護師	503
薬剤師		20		准看護師	7
医療技術員	診療放射線技師	17	事務職員		62
	臨床検査技師	28	メディカルソーシャルワーカー		5
	理学療法士	16	医療技術補助員		16
	作業療法士	6	看護助手		60
	言語聴覚士	3	看護学校教職員		10
	按摩マッサージ師	0	看護学校事務員		2
	管理栄養士	7	その他（職員労働組合専従）		0
	栄養士	0	総合相談員		1
	視能訓練士	2	保健師		1
	歯科衛生士	2	保育士		1
	臨床工学技士	15	合 計		863

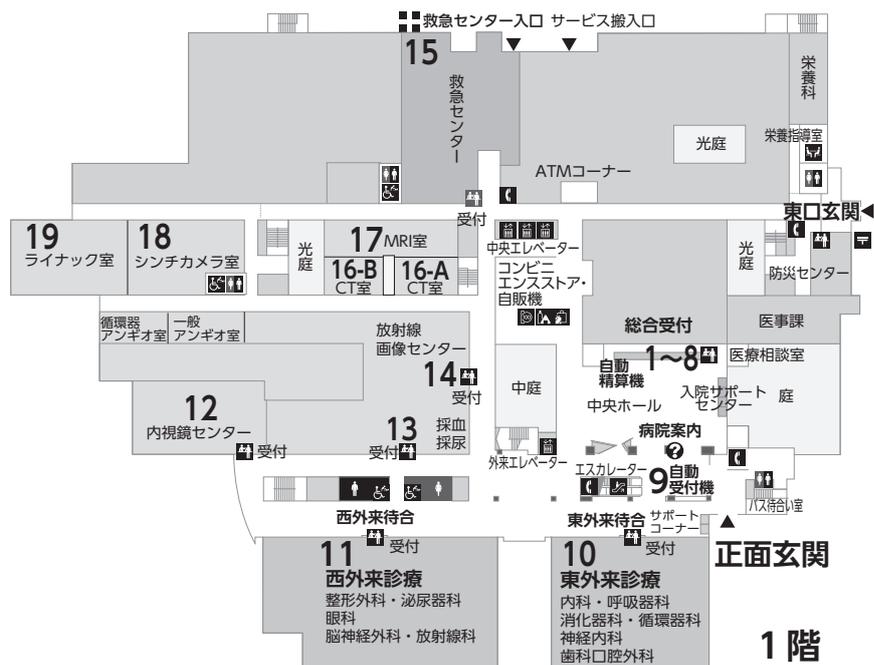
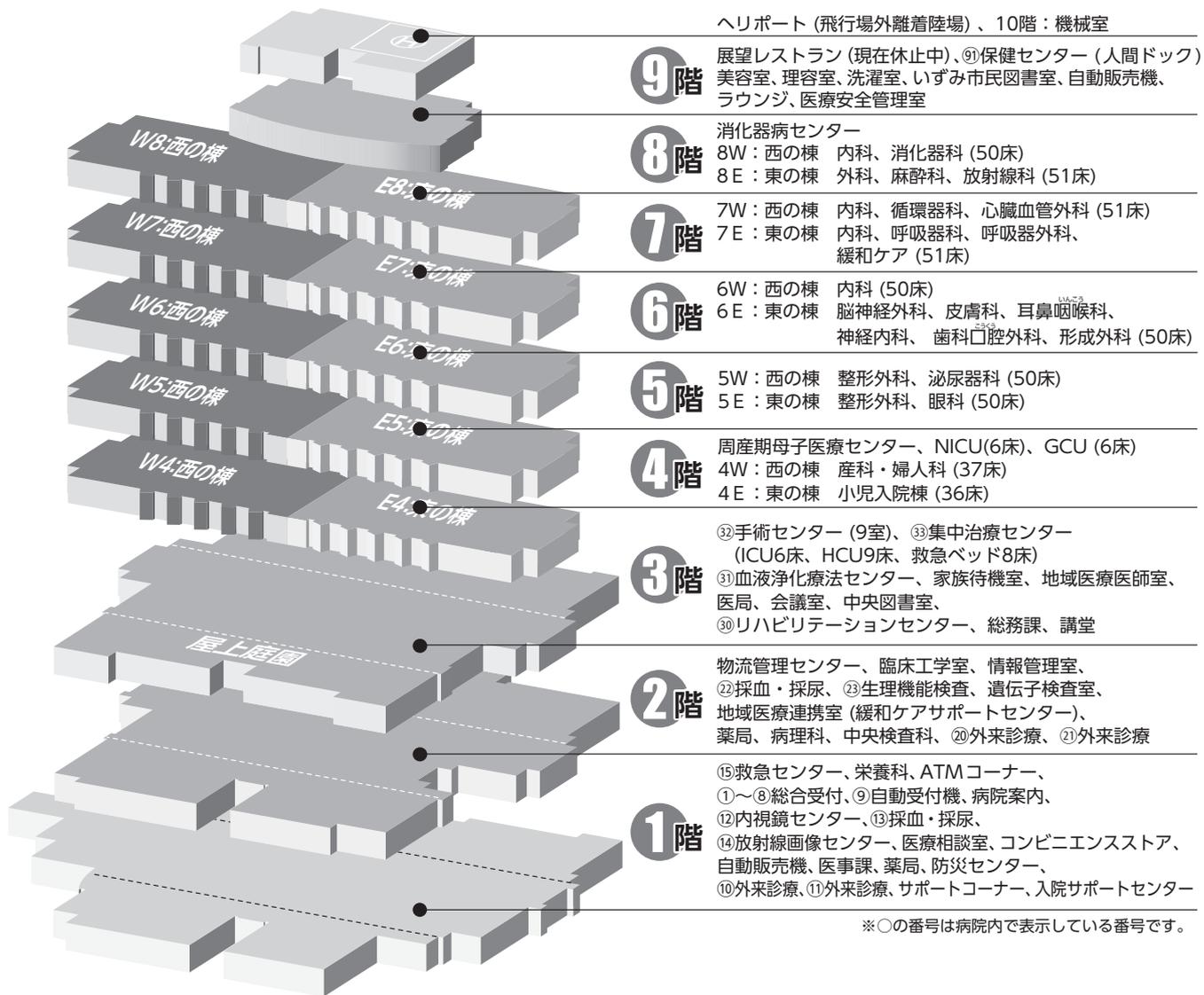
(正規雇用職員の外に、会計年度任用職員を含んだ人数である。)
(病院事業管理者は医師と兼務)

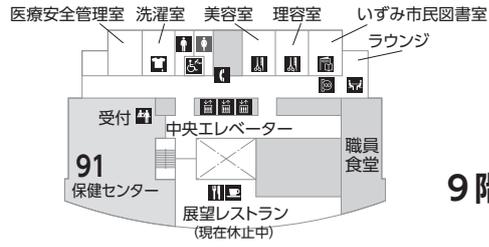
入院棟別病床数

令和4年4月1日現在

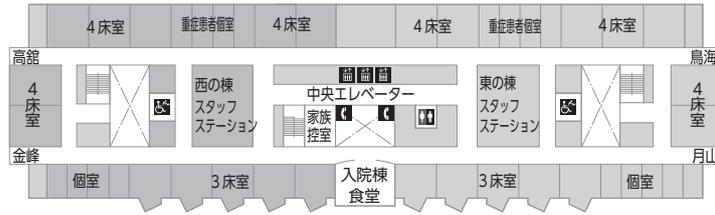
入院棟名	病床数	診療科名等
集中治療センター	23	ICU 6床、HCU 9床、救急ベッド 8床
NICU・GCU	12	NICU 6床、GCU 6床
4階東入院棟	36	小児入院棟
4階西入院棟	37	産科・婦人科
5階東入院棟	50	整形外科、眼科
5階西入院棟	50	整形外科、泌尿器科
6階東入院棟	50	脳神経外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、神経内科 歯科口腔外科、形成外科
6階西入院棟	50	内科
7階東入院棟	51	内科、呼吸器科、呼吸器外科、緩和ケア
7階西入院棟	51	内科、循環器科、心臓血管外科
8階東入院棟	51	外科、放射線科、麻酔科
8階西入院棟	50	内科、消化器科
計	511	

各階構成図と平面図





9階



5~8階



4階



2階



3階

科別患者数

(入 院)

科 名 年 度		内 科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	漢方内科	小児科	外 科	整形外科	形成外科	脳神経 外 科
		R1	患者総数	23,322	0	5,558	146	19,071	17,952		10,066	17,826	23,667
	一日平均	63.7	0.0	15.2	0.4	52.1	49.0		27.5	48.7	64.7	0.0	25.4
R2	患者総数	20,763	0	5,627	2,544	15,363	14,237		7,107	16,102	23,328	6	9,104
	一日平均	56.9	0.0	15.4	7.0	42.1	39.0		19.5	44.1	63.9	0.0	24.9
R3	患者総数	24,879	0	5,000	3,344	16,884	15,595	0	7,251	16,130	21,208	7	7,312
	一日平均	68.2	0.0	13.7	9.2	46.3	42.7	0.0	19.9	44.2	58.1	0.0	20.0

※患者総数=在院患者数+退院患者数

(外 来)

科 名 年 度		内 科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	漢方内科	小児科	外 科	整形外科	形成外科	脳神経 外 科
		R1	患者総数	41,988	410	5,488	1,182	11,098	7,039		11,151	16,161	18,019
	一日平均	174.2	1.7	22.8	4.9	46.0	29.2		46.3	67.1	74.8	9.0	26.0
R2	患者総数	42,188	466	5,451	2,056	10,473	7,843		9,332	15,103	16,228	1,851	5,636
	一日平均	173.6	1.9	22.4	8.5	43.1	32.3		38.4	62.2	66.8	7.6	23.2
R3	患者総数	48,904	520	5,449	2,815	10,947	8,138	502	10,778	14,573	18,408	1,623	5,305
	一日平均	202.1	2.1	22.5	11.6	45.2	33.6	2.1	44.5	60.2	76.1	6.7	21.9

科別救急患者数

(単位：人)

科名 年度	内 科	精 神 科	神 経 内 科	呼 吸 器 科	消 化 器 科	循 環 器 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	形 成 外 科	脳 神 経 外 科	呼 吸 器 外 科	心 臓 血 管 外 科	小 児 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	婦 産 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 科	麻 酔 科	歯 科	口 腔 外 科	合 計	一 日 平 均
	R1	5,982	2	200	9	326	313	2,248	743	2,762	72	1,347	6	3	64	319	573	361	217	344	0	0	170	16,061	43.9
R2	5,653	6	266	27	352	321	1,214	563	2,395	49	1,273	5	2	44	231	553	283	265	250	0	0	105	13,857	38.0	
R3	11,210	4	241	25	312	296	1,759	561	2,181	44	1,122	1	0	73	221	458	293	316	196	0	0	104	19,417	53.2	

(単位：人)

呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産科 婦人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射線科	歯科 口腔 外科	麻酔科	合計	一日平均
0	1	751	216	4,987	8,365	1,177	208	0	1,151	0	143,775	392.8
0.0	0.0	2.1	0.6	13.6	22.9	3.2	0.6	0.0	3.1	0.0		
0	0	622	49	6,026	6,927	1,109	130	0	1,082	0	130,126	356.5
0.0	0.0	1.7	0.1	16.5	19.0	3.0	0.4	0.0	3.0	0.0		
0	0	547	163	4,870	6,156	1,079	135	0	967	0	131,527	360.3
0.0	0.0	1.5	0.4	13.3	16.9	3.0	0.4	0.0	2.6	0.0		

(単位：人)

呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産科 婦人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射線科	歯科 口腔 外科	麻酔科	合計	一日平均
1,824	548	1,644	2,118	11,620	7,779	6,488	2,558	3,885	5,987	1,638	167,060	693.2
7.6	2.3	6.8	8.8	48.2	32.3	26.9	10.6	16.1	24.8	6.8		
1,346	492	1,413	1,708	11,200	7,391	8,167	2,247	4,826	4,856	1,446	161,719	665.5
5.5	2.0	5.8	7.0	46.1	30.4	33.6	9.2	19.9	20.0	6.0		
1,122	527	1,431	1,602	11,591	7,768	9,584	2,111	3,532	5,015	1,481	173,726	717.9
4.6	2.2	5.9	6.6	47.9	32.1	39.6	8.7	14.6	20.7	6.1		

科別手術件数(手術センター)

(単位：件)

年度	科名		小児科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	泌尿器科	婦人科	産科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科 口腔 外科	麻酔科	その他	合計	一日平均
	内科	外科																	
R1	39	0	645	999	117	124	1	0	94	148	282	818	11	150	0	5	3,433	9.4	
R2	38	2	564	910	83	137	1	0	59	144	260	982	6	136	1	2	3,325	9.1	
R3	44	1	504	1,066	95	110	0	0	66	218	254	972	12	146	0	1	3,489	9.6	

調剤等の状況

調剤件数

区分 年度	入 院			外 来			(入院+外来)合計			外来院外処方箋			
	枚数	件数	剤数	枚数	件数	剤数	枚数	件数	剤数	枚数	件数	剤数	院外比率
R1	80,173	140,838	868,676	14,278	27,538	296,063	94,451	168,376	1,164,739	71,278	198,621	6,266,152	83.3%
R2	75,072	127,536	789,279	12,906	24,817	267,459	87,978	152,353	1,056,738	69,147	192,227	6,386,842	84.3%
R3	75,226	128,760	758,540	14,575	28,748	298,313	89,801	157,508	1,056,853	73,753	203,370	6,551,423	83.5%

薬剤管理指導件数

区分 年度	指導人数	実施回数	通常算定 件数	ハイリスク 算定件数	麻薬管理 指 導 加算件数	退 院 時 服 薬 管 理 指導加算件数
R1	7,250	12,449	5,691	1,217	68	2,859
R2	5,770	9,124	4,627	1,084	54	2,572
R3	5,496	8,081	4,950	748	65	2,506

中心静脈栄養調製件数

区分 年度	成 人		小 児	
	調製本数	調製件数	調製本数	調製件数
R1	464	409	3,221	1,124
R2	662	610	2,127	820
R3	798	705	2,272	768

抗がん剤調製件数

区分 年度	入 院		外 来	
	調製人数(延べ)	調製件数	調製人数(延べ)	調製件数
R1	1,406	2,786	1,362	1,770
R2	1,410	2,793	1,310	1,703
R3	1,681	3,360	1,234	1,604

給食の状況

栄養指導回数及び延人員

(単位：件、人)

区分 年度	胃腸病				肝臓病				高血圧				心臓病				糖尿病			
	件数	人員			件数	人員			件数	人員			件数	人員			件数	人員		
		患者	家族	合計		患者	家族	合計		患者	家族	合計		患者	家族	合計		患者	家族	合計
R1	641	641	322	963	18	18	5	23	42	42	24	66	111	111	69	180	480	480	115	595
R2	488	488	196	684	53	53	27	80	39	39	22	61	142	142	91	233	412	412	114	526
R3	518	518	230	748	36	36	16	52	43	43	27	70	154	154	90	244	385	385	86	471
区分 年度	腎臓病(透析含む)				肥満				がん				その他				総計			
	件数	人員			件数	人員			件数	人員			件数	人員			件数	人員		
		患者	家族	合計		患者	家族	合計		患者	家族	合計		患者	家族	合計		患者	家族	合計
R1	343	343	111	454	105	105	80	185	536	536	207	743	266	266	152	418	2,542	2,542	1,085	3,627
R2	202	202	77	279	111	111	99	210	481	481	129	610	356	356	208	564	2,284	2,284	963	3,247
R3	163	163	46	209	92	92	84	176	667	667	169	836	426	426	258	684	2,484	2,484	1,006	3,490

給食数

(単位：件、人)

区分 年度	一般食	特別食 (うち特別食加算)	給食総数	一日平均 給食人員	給食総数に対する 特別食加算の割合
R1	149,789	177,509 (93,893)	327,298	902.6	28.7%
R2	135,917	165,937 (95,063)	301,854	827.6	31.5%
R3	140,866	153,586 (82,756)	294,452	807.3	28.1%

主要特別食食数内訳

(単位：件)

区分 年度	塩分 制限食	透析食	塩分蛋白 制限食	エネルギー 指定食	エネルギー 蛋白制限食	脂肪 制限食	潰瘍食	胃切除食	腸切除食	学童食 幼児食	やわらか ご飯食	高蛋白食	経管 流動食	その他	計
R1	20,793	7,692	4,812	41,418	5,792	6,622	2,416	3,328	3,520	8,148	7,788	0	12,040	53,140	177,509
R2	24,936	6,218	5,272	38,580	3,487	7,047	1,933	4,319	4,538	3,524	6,977	137	11,002	47,967	165,937
R3	20,187	7,960	3,600	33,228	3,395	6,928	1,657	4,357	3,259	3,898	4,520	72	11,615	48,910	153,586

臨床検査件数

年度\区分	一般	血液	細菌	血清	化学	生理	院外委託	合計
R1	42,590	147,205	30,665	72,494	1,306,091	16,005	16,002	1,631,052
R2	38,591	138,759	27,369	77,456	1,253,054	15,143	17,802	1,568,174
R3	39,114	155,626	34,759	94,624	1,347,249	14,718	21,820	1,707,910

病理検査件数

(単位：件)

年度\区分	組織診	術中迅速診	細胞診	受託組織診	受託迅速診	受託細胞診	院外委託	合計
R1	2,389	110	3,596	2,899	0	267	113	9,374
R2	2,019	103	2,719	2,504	0	258	128	7,731
R3	2,183	99	2,835	0	0	0	142	5,259

輸血関係件数

(単位：件)

年度\区分	検査件数	血液製剤使用単位数			
		自己血輸血単位数 全血	赤血球	血漿	血小板
R1	10,156	30	3,096	598	1,810
R2	10,323	27	3,161	560	1,325
R3	10,555	33	3,281	556	2,415

内視鏡実施件数

(検査内視鏡)

(単位：件)

年度\区分	上部消化管	下部消化管	ERCP	超音波内視鏡	気管支鏡(BAL含む)
R1	3,595	1,021	327	50	17
R2	3,225	975	372	17	36
R3	3,241	859	369	20	33

(治療内視鏡)

(単位：件)

年度\区分	上部EMR	下部EMR	上部ESD	下部ESD	止血処置	硬化療法	EVL	食道ステント挿入	胃・十二指腸ステント挿入
R1	3	362	64	20	106	3	7	3	5
R2	3	318	25	14	87	8	9	6	5
R3	1	313	40	18	78	0	2	1	11
年度\区分	大腸ステント挿入	狭窄部拡張術	EST	結石除去術	胆道ドレナージ	胆道メタリックステント	PEG(胃瘻造設)	異物除去	その他
R1	16	17	117	115	193	23	21	15	2
R2	15	9	115	136	206	17	15	12	3
R3	14	6	98	135	208	14	19	8	2

放射線撮影・治療・検査人数

(単位：人)

区分 年度	X線				放射線治療 (ライナック)	RI検査	C T	M R I	合計
	透視	直接	血管造影	計					
R1	1,493	44,604	406	46,503	3,740	287	18,116	5,447	74,093
R2	1,555	41,548	410	43,513	4,772	280	18,177	5,624	72,366
R3	1,509	41,442	373	43,324	3,399	255	18,468	5,717	71,163

血管造影・IVR(画像下治療)患者数

(単位：件)

区分 年度	循環器科										脳神経外科		内科		放射線科				合計	
	冠動脈 造影 (診断造影)	経皮的 冠動脈 形成術	ペース メーカー 交換術	永久的 ペース メーカー 埋込術	心電図 モニター 埋込術	一時 ペース メーカー 埋込術	IVC フィルター	DC	四肢 IVR	心臓 造影	脳血管 造影	脳血管 内 治療	頸動脈 ステント 留置術	ブラッド アクセス 留置術	TACE	その他 血管系 IVR	PTA	CTガ付下 膿瘍 ドレナージ		CTガ付下 生検
R1	76	53	21	48	5	59	0	0	0	4	78	22	0	13	11	13	2	3	0	408
R2	127	64	21	22	3	33	0	5	0	5	79	17	1	17	5	10	8	3	3	423
R3	62	60	13	39	0	39	0	5	2	5	89	28	2	17	4	13	4	1	2	385

リハビリテーション件数

(単位：件)

区分 年度	理学療法	作業療法	言語療法	感覚検査	摂食機能療法	合計
R1	45,046	11,375	4,888	89	1,484	62,882
R2	46,543	12,743	5,682	76	1,451	66,495
R3	47,011	15,309	4,942	76	1,292	68,630

人工透析患者数

1. 患者数

(単位：人)

区分 年度	(ア)血液透析		(イ)腹膜透析
	延患者数	年度末患者数	年度末患者数
R1	21,402	141	13
R2	20,729	137	7
R3	19,996	131	8

2. 血液透析の提供体制

(1) ベッド数 47床

(2) コース内容

①日中コース：月・水・金曜日及び

火・木・土曜日の2コース

②夜間コース：月・水・金曜日の1コース

出生児数、分娩件数等

(単位：人)

区分 年度	出生児数 ※死産含む	分娩件数		ハイリスク 妊娠管理 患者数	ハイリスク 分娩管理 患者数	
		経膈分娩	帝王切開			
R1	347	337	233	104	89	83
R2	250	244	141	103	58	73
R3	259	251	160	91	53	76

※ハイリスク妊娠管理は、平成20年度から実施。

科別解剖件数

(単位：人)

年度	科別	内科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	歯科口腔外科	合計	
R1		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
R2		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
R3		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

科別医療相談件数

(単位：件)

年度	科別	内科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	その他	合計
R1		256	1	50	2	135	226	76	107	1	59	1	0	46	2	42	18	0	0	1	4	1,027
R2		226	0	83	71	167	169	129	114	1	48	0	0	43	0	46	16	7	2	2	3	1,127
R3		243	0	57	16	182	152	75	110	0	64	0	0	58	3	53	11	13	1	0	10	1,048

訪問看護件数 (平成6年9月から実施)

※平成19年8月より休止中

紹介率・逆紹介率 (地域医療支援病院の承認要件の基準による)

(単位：%)

年度	区分	紹介率	逆紹介率	算定式		
				紹介率	逆紹介率	初診患者
R1		78.5	99.3	紹介患者の数／初診患者の数×100	逆紹介患者の数／初診患者の数×100	救急搬送患者、休日・夜間救急患者等で治療を開始した患者を除く。
R2		70.4	97.7			
R3		50.4	86.6			

紹介率は、他の医療機関から紹介状により紹介された患者の数の初診患者の数に占める割合
逆紹介率は、他の医療機関へ文書を添えて紹介を行った患者の数の初診患者の数に占める割合

人間ドックの状況

1. 人間ドック受診数

(単位：人) **主な検査項目**

区分 年度	入院	外来	合計
R1	389	1,405	1,794
R2	260	1,388	1,648
R3	325	1,483	1,808

入院ドック (1泊2日)

食道・胃検査、心電図、胸部X線撮影、血糖検査(糖負荷試験)、腹部超音波、尿便検査、肝機能検査、血液検査、コレステロール検査、眼科検診、B・C型肝炎検査、腎機能検査、婦人科検診、乳がん検診(※)、身体計測、内科診察、C T肺がん検査(※)、口腔検診(※)、唾液がんリスク検査(※)

外来ドック (日帰り)

食道・胃検査、心電図、血液検査、コレステロール検査、尿便検査、肝機能検査、胸部X線撮影、眼科検診、B・C型肝炎検査、腎機能検査、血糖検査、身体計測、内科診察、婦人科健診(※)、乳がん検診(※)、C T肺がん検査(※)

(※) オプション項目

2. 人間ドック・個別検診 精度管理状況

年度	種別	受診者(A) (1次検診受診者数)	要精検者(B) (要精検率)		精検受診者中 回報書回収(C) (精検受診率)		がん以外 その他疾患(D) 疾患/要精検者 (D)/(B)	がん(E) (陽性反応適中度) : (がん発見率)	
			要精検者/受診者 (B)/(A)	回収/要精検者 (C)/(B)	がん/要精検者 (E)/(B)	がん/受診者 (E)/(A)			
人間ドック	R1	大腸がん検診	1,780	116 6.52%	74 63.79%	29 25.00%	4 3.45%	0.22%	
		胃がん検診	1,746	65 3.72%	41 63.08%	20 30.77%	6 9.23%	0.34%	
		肺がん検診	1,788	107 5.98%	68 63.55%	33 30.84%	3 2.80%	0.17%	
		子宮がん検診	479	5 1.04%	5 100.00%	1 20.00%	0 0.00%	0.00%	
		乳がん検診	541	50 9.24%	46 92.00%	1 2.00%	1 2.00%	0.18%	
	R2	大腸がん検診	1,636	88 5.38%	53 60.23%	12 13.64%	2 2.27%	0.12%	
		胃がん検診	1,610	40 2.48%	21 52.50%	16 40.00%	2 5.00%	0.12%	
		肺がん検診	1,643	72 4.38%	48 66.67%	28 38.89%	0 0.00%	0.00%	
		子宮がん検診	455	7 1.54%	6 85.71%	2 28.57%	0 0.00%	0.00%	
		乳がん検診	510	53 10.39%	45 84.91%	10 18.87%	2 3.77%	0.39%	
	R3	大腸がん検診	1,793	119 6.64%	61 51.26%	24 20.17%	2 1.68%	0.11%	
		胃がん検診	1,756	34 1.94%	23 67.65%	13 38.24%	7 20.59%	0.40%	
		肺がん検診	1,801	55 3.05%	35 63.64%	18 32.73%	0 0.00%	0.00%	
		子宮がん検診	467	5 1.07%	5 100.00%	1 20.00%	0 0.00%	0.00%	
		乳がん検診	537	54 10.06%	39 72.22%	5 9.26%	4 7.41%	0.74%	
個別検診	R1	乳がん検診	174	21 12.07%	21 100.00%	1 4.76%	2 9.52%	1.15%	
	R2	乳がん検診	133	10 7.52%	9 90.00%	3 30.00%	0 0.00%	0.00%	
	R3	乳がん検診	150	15 10.00%	15 100.00%	2 13.33%	0 0.00%	0.00%	

主な医療機器

(取得価格 10,000千円以上)

名 称	メーカー・規格等	整備年度	所属部署
歯科用診療ユニット	長田電機工業・スマイリーN-L253LL	平成15年度	歯科口腔外科
歯科口腔外科・外来処置器具セット	YDM・ほか	平成15年度	歯科口腔外科
シーリングペンダント	美和医療電機・A8S20 (腹腔鏡用)	平成15年度	手術センター
高圧蒸気滅菌装置	サクラ精機・千代田製作所社製：NSS-012W	平成15年度	物流管理センター
ジェット式洗浄装置	サクラ精機・DECO-2000E	平成15年度	物流管理センター
調剤支援システム・ソフトウェア (調剤サーバ)	ユヤマ・ユニコム-X (サーバ：富士通・FM-Vシリーズ)	平成15年度	薬 局
患者監視装置	フィリップス・intellivue MP-70	平成15年度	臨床工 学 室
患者監視装置	フィリップス・intellivue MP-70	平成15年度	臨床工 学 室
心電図 (生体情報) モニタ	IntelliVue MP5 (M8105A)	平成15年度	臨床工 学 室
3面画像観察装置	横河電機	平成15年度	放射線画像センター
マルチカラーレーザー光凝固装置	日本ルミナス・ノーバスヴァリア	平成18年度	眼 科
ミニCアームX線診断装置	東洋メディック・インサイト	平成19年度	整形 外 科
X線CT装置	東芝・Aquilion64 TSX-101A/HA	平成19年度	放射線画像センター
腹腔鏡システム 7mm口腹装置	アムコ・オムニフレーター7640型	平成20年度	外 科
一般撮影装置 RADIOTEX	島津製作所・RADIOTEX UD-150L-40	平成20年度	放射線画像センター
低温プラズマ滅菌器	STERRAD 100S PS II	平成21年度	物流管理センター
心電図モニタ (医用テレメータ)	日本光電：WEP-5208	平成21年度	臨床工 学 室
臨床用ポリグラフィシステム	RMC-4000M 他	平成21年度	臨床工 学 室
心電図 (生体情報) モニタ	IntelliVue MP5 (M8105A)	平成21年度	臨床工 学 室
手術用顕微鏡	OPMI Vario (S88フロアスタンド)	平成21年度	臨床工 学 室
乳房X線撮影装置	AMULET ほか付属品	平成22年度	放射線画像センター
全自動錠剤分包機	PROUD YS-TR-260FDS II ほか付属品	平成22年度	薬 局
腹腔・胸腔鏡下手術システム	カールストゥツ IMAGE1 HUB HDカメラコントロールユニット 他	平成23年度	外 科 他
高圧蒸気滅菌装置	GETINGE 高圧蒸気滅菌装置 HS66 TURBO	平成23年度	物流管理センター
多目的デジタルX線TV	㈱島津製作所 SONIALVISION Safire17	平成23年度	放射線画像センター
全身用血管撮影装置	㈱フィリップスエレクトロニクスジャパン Allura Xper FD20/20	平成24年度	放射線画像センター
循環器血管撮影装置	㈱フィリップスエレクトロニクスジャパン Allura Xper FD10C	平成24年度	放射線画像センター
注射自動払出システム	パナソニックヘルスケア(株) 注射薬払出口ロボットシステム	平成24年度	薬 局
骨密度測定装置	東洋メディック(株) HOLOGIC社製 QDR DISCOVERY W型	平成24年度	放射線画像センター
一般撮影装置	コニカミノルタ	平成25年度	放射線画像センター
大動脈内バルーンポンピング	マッケ・ジャパン(株) 大動脈内バルーンポンプ CARDIOSAVE-H	平成25年度	循 環 器 科
心電図ファイリングシステム	富士通 生理検査情報システムサーバ他	平成25年度	中 央 検 査 科
循環器用・超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ(株) APLIO ARTIDA SSH-880CV	平成26年度	中 央 検 査 科
胸部・乳腺用・超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ(株) APLIO 400 TUS-A400	平成26年度	中 央 検 査 科
胸部・乳腺用・超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ(株) APLIO 400 TUS-A400	平成26年度	中 央 検 査 科
X線TV装置	島津製作所(株) SONIALVISION G4	平成26年度	放射線画像センター
関節鏡システム	日本ストライカー(株) 1488 HD CAMERA Platform	平成26年度	臨床工 学 室
X線CT装置	東芝 スキャナ Aquilion/ONE TSX-301C/7A	平成26年度	放射線画像センター
放射線治療用シミュレーションCT	東芝 スキャナ Aquilion/LB TSX-201A	平成26年度	放射線画像センター
生理検査システム 脳波計	日本光電	平成26年度	中 央 検 査 科
シンチカメラ	東芝 デジタルガンマカメラ SimbiaE/4C	平成26年度	放射線画像センター
光干渉断層計	カールツァイス シラス HD-OCT 5000 Plus	平成27年度	眼 科
脊椎脊髄ナビゲーションシステム	日本メドトロニック 脊椎外科ナビゲーションシステム ステラスステーションS7	平成27年度	整形 外 科
手術用顕微鏡	カールツァイス OPMI PENTERO 900	平成27年度	脳 神 経 外 科
超音波診断装置	GE Voluson E10 Series	平成28年度	産 婦 人 科
内視鏡下尿路結石破砕装置	ポストン・サイエンティフィックジャパン(株)スライトリクラストマスターJシステム	平成28年度	泌 尿 器 科
放射線治療装置 (ライナック)	バリアン 放射線治療システム VitalBeam	平成28年度	放射線画像センター
内視鏡システム	オリンパス	平成30年度	臨床工 学 室
胎児集中監視システム	トーイツ(株) OBIS-セントラルVer.3 他	平成30年度	産 婦 人 科
硝子体手術装置	日本アルコン(株)：コンステレーション ビジョンシステム LXT	平成30年度	眼 科
眼科用手術顕微鏡	カールツァイスメディテック(株) OPMI Lumera700	平成30年度	眼 科
食器洗浄機	MEIKO 高機能省エネ型食器洗浄機 B-L54V8NO2	平成30年度	栄 養 科
モバイルCアームシステム	(株)フィリップス・ジャパン Veradius Unity	令和元年度	整形 外 科
心肺運動負荷試験検査装置	日本光電工業(株)	令和元年度	循 環 器 科
MRI装置 (1.5T)	(株)フィリップス・ジャパン Ingenia 1.5T	令和元年度	放射線画像センター
MRI装置 (3.0T)	(株)フィリップス・ジャパン Achieva dStream 3.0T-DS Advance	令和元年度	放射線画像センター
自動採血管準備装置	(株)テクノメディカ 自動採血管準備装置 BC・ROBO-888	令和元年度	中 央 検 査 科
生体情報モニタリングシステム	(株)フィリップス・ジャパン	令和元年度	臨床工 学 室
超音波診断装置	CEヘルスケア・ジャパン(株) 汎用超音波診断装置 Vivid E95 Ultra Edition	令和2年度	循 環 器 科
モバイルCアームシステム	(株)フィリップス エレクトロニクス ジャパン FPD搭載モバイルCアームシステム Veradius Unity	令和2年度	放射線画像センター
生化学自動分析装置	キヤノンメディカルシステムズ(株) 臨床化学自動分析装置 TBA-NX360	令和2年度	中 央 検 査 科
簡易陰圧装置	(株)モレーンコーポレーション 空気感染隔離ユニット ミンティECU	令和2年度	医 療 安 全
プラズマ滅菌器	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 低温プラズマ滅菌装置 STERRAD 100S	令和2年度	物流管理センター
遺伝子解析装置	日本ベクトン・ディッキンソン(株) BD マックス全自動核酸抽出増幅検査システム	令和2年度	中 央 検 査 科
全身麻酔装置	GEヘルスケアジャパン(株) エイシス CS2 Pro ETC	令和2年度	麻 酔 科
超音波診断装置	(株)フィリップスジャパン Affiniti70	令和2年度	N I C U
ミニCアームX線診断装置	ガデリウス・メディカル(株) OrthoScan TAU15×12	令和3年度	整形 外 科
尿沈渣自動分析装置	シスメックス(株) 全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000	令和3年度	中 央 検 査 科
眼底カメラ	(株)ニデック 共焦点走査型超広角眼底鏡ミラテ FA/IA/OCT付	令和3年度	眼 科
(CT用) 3Dワークステーション	アミン(株) CT用3次元画像処理装置 ZioStation2 Plus TypeH Network	令和3年度	放射線画像センター
(MRI用) 3Dワークステーション	アミン(株) MRI用3次元画像処理装置 ZioStation2 Plus TypeH Network	令和3年度	放射線画像センター

年度別決算状況

(1)収益的収入及び支出

(単位:千円)

科 目	年 度	R1	R2	R3
医 業 収 益		10,588,527	10,031,932	10,398,786
入院外来収益		10,065,440	9,548,615	9,855,287
入院収益		7,591,447	7,098,864	7,175,713
外来収益		2,473,993	2,449,751	2,679,574
その他		523,087	483,317	543,499
医 業 外 収 益		1,653,318	2,426,055	2,486,458
一般会計負担金		732,110	735,263	773,271
長期前受金戻入		811,679	700,024	455,356
その他		109,529	990,768	1,257,831
看 護 学 校 収 益		89,612	99,044	116,176
一般会計負担金		74,512	85,263	102,534
県補助金		23	24	29
その他		15,077	13,757	13,613
特 別 利 益		0	208,812	255,008
総 収 益		12,331,457	12,765,843	13,256,428
医 業 費 用		11,906,623	11,415,140	11,737,608
給与費		6,610,744	6,664,920	6,822,251
(うち退職給付費)		(245,958)	(245,958)	(245,958)
(うち賞与引当金繰入額)		(342,078)	(359,221)	(369,531)
(うち法定福利費引当金繰入額)		(64,046)	(67,966)	(70,379)
材料費		2,124,749	2,072,143	2,189,840
(うち薬品費)		(1,016,579)	(991,543)	(1,008,123)
経費		1,690,222	1,694,564	1,782,528
(うち貸倒引当金繰入額)		(911)	(0)	(493)
減価償却費		1,244,868	792,903	711,020
資産減耗費		29,415	8,586	41,932
研究研修費		206,625	182,024	190,037
医 業 外 費 用		583,882	609,625	609,172
支払利息		182,772	170,361	157,346
(うち一時借入金利息)		(0)	(0)	(0)
その他		401,110	439,264	451,826
看 護 学 校 費 用		89,612	99,044	116,176
給与費		80,274	91,265	107,771
(うち賞与引当金繰入額)		(4,688)	(6,213)	(7,271)
(うち法定福利費引当金繰入額)		(860)	(1,143)	(1,395)
その他		9,338	7,779	8,405
特 別 損 失		0	208,812	0
総 費 用		12,580,117	12,332,621	12,462,956
純 利 益		△ 248,660	433,222	793,472
前年度繰越欠損金		12,147,390	12,396,050	11,962,828
その他未処分利益剰余金変動額		0	0	0
当年度未処理欠損金		12,396,050	11,962,828	11,169,356

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

科目 \ 年度	R1	R2	R3
資本的収入	1,478,022	1,342,565	1,163,990
企業債	662,100	353,600	325,700
他会計出資金	0	0	0
他会計補助金	0	0	0
国県補助金	2,169	74,258	7,170
その他補助金	0	0	1,936
他会計負担金	811,753	912,707	817,184
寄附金	0	0	0
基金繰入金	2,000	2,000	2,000
固定資産売却代金	0	0	0
長期貸付金返還金	0	0	10,000
工事負担金	0	0	0
資本的支出	1,950,824	1,766,334	1,690,247
建設改良費計	666,057	579,087	355,262
施設整備費	75,132	150,557	113,773
機器整備費	590,056	427,585	240,216
リース資産購入費	869	945	1,273
財産購入費	0	0	0
企業債償還金	1,270,744	1,173,234	1,318,570
長期貸付金	14,000	14,000	14,000
基金積立金	23	13	9
看護学校整備費	0	0	2,406
他会計補助金返還金	0	0	0
繰越財源	0	19,151	0
差引額	△ 472,802	△ 442,920	△ 526,257

経営分析

項目		年度	R1	R2	R3	
病床利用率 (%)	一般病床		76.9	69.8	70.5	
	計		76.9	69.8	70.5	
平均在院日数 (日)			13.1	13.6	13.1	
患者数	一日平均患者数 (人)	入院	392.8	356.5	360.3	
		外来	693.2	665.5	717.9	
	外来入院患者比率 (%)		116.2	124.3	132.1	
者数	職員1人一日当り患者数 (人)	医師	入院	5.7	4.7	4.7
			外来	6.7	5.8	6.2
		看護部門	入院	0.8	0.6	0.6
			外来	0.9	0.8	0.8

※病床利用率は、P12～13の「科別患者数（入院合計）」の「年延病床数」に占める割合。

年延病床数は、許可病床数521床から人間ドック10床を差し引いた511床による。

※平均在院日数は、「公営企業決算状況調査（決算統計）」の算定方法による。

収入	患者1人一日当り診療収入(円)	入院	52,801	54,554	54,557
		うち投薬注射収入	922	1,140	1,209
		うち検査収入	711	800	1,120
		うちX線収入	180	233	219
		外来	14,809	15,148	15,424
		うち投薬注射収入	3,938	4,287	4,151
		うち検査収入	2,576	2,701	3,324
		うちX線収入	2,122	2,225	2,022
職員1人一日当り診療収入(円)	医師	401,301	343,834	353,312	
	看護部門職員	56,440	47,101	48,087	
費用	患者1人一日当り薬品費(円)	投薬	718	669	704
		注射	2,553	2,728	2,599
	投薬薬品使用効率 (%)	73.7	79.2	83.3	
	注射薬品使用効率 (%)	78.9	86.3	88.4	
診療収入に対する割合 (%)		投薬注射収入	7.9	8.8	8.9
		検査収入	5.3	5.7	7.4
		X線収入	3.8	4.1	3.9
対医療収益比	医療材料費 (%)	薬品費	9.6	9.9	9.7
		その他医療材料費	10.5	10.8	11.4
	職員給与費 (%)	58.5	62.3	61.7	
検査の状況	患者100人当り	検査件数 (件)	528.0	540.9	563.0
	〃	X線件数 (件)	23.8	24.8	23.3
	検査技師1人当り	検査件数 (件)	63,123	58,247	61,374
	〃	検査収入 (千円)	20,482	19,961	25,883
	X線技師1人当り	X線件数 (件)	4,630	4,257	4,336
	〃	X線収入 (千円)	23,778	22,947	23,173

財務分析

項目	年度			
	R1	R2	R3	
自己資本構成比率(%)	△ 7.5	△ 2.8	3.1	
固定資産対長期資本比率(%)	98.2	96.3	92.0	
流動比率(%)	109.5	117.8	139.2	
総収益対総費用比率(%)	98.0	103.5	106.4	
医業収益対医業費用比率(%)	88.9	87.9	88.6	
企業債償還額対減価償却比率(%)	102.1	148.0	185.4	
総資本回転率(回)	0.7	0.7	0.7	
固定資産回転率(回)	0.8	0.8	0.9	
入院・外来収益に 対する比率(%)	企業債償還元金	12.6	12.3	13.4
	企業債償還利息	1.8	1.8	1.6
	企業債元利償還金	14.4	14.1	15.0
	職員給与費	61.6	65.5	65.1

外来診療の現況

☐ … 予約診察

☐ … 予約と当日受付の診察

(1) 一般外来

令和4年7月現在

診療科	特殊外来等の取扱い		月	火	水	木	金	備 考
内 科		午前	1 診	1 診	1 診	1 診	1 診	・初診は紹介制。 ・初診受付は11:00まで。 ・第2・4水曜日のみ手術。
		午後	2 診	1 診	1 診(第2・4)	1 診		
神経内科		午前	1 診	2 診	1 診	—	1 診	・初診は紹介制。 ・初診受付は11:00まで。 ・月・水曜3枠、金曜は2枠。
		午後	2 診	2 診	2 診	1 診 (2診第1)	1 診	
呼吸器科	・二次健診 月・木曜(紹介のみ)	午前	1 診	—	—	1 診	—	・木曜は不定期(月1回)。 ・院内紹介のみ(水)。 ・月・木1枠のみ。
		午後			1 診	1 診		
消化器科	・肝外来(水曜)は原則初診受付不可。 当院消化器科医紹介。 ・金曜フリー担当医師。	午前	—	1 診	1 診 (第1・3・5)	—	1 診	・初診は紹介制。 ・初診受付は11:00まで。
		午後		1 診	2 診			
循環器科		午前	1 診	1 診	2 診	1 診	1 診	・初診は紹介制。 ・初診受付は11:00まで。 ・ペースメーカー外来(金)。
		午後	1 診				2 診	
精神科		午後	—	1 診	—	1 診	—	・こころの医療センター医師による診察で、院内のコンサルテーションのみ。
漢方内科		午前	1 診	—	—	—	—	・初診は紹介制。
		午後	—	—	—	1 診	—	
小児科	午後は特殊外来(要予約) ・予防接種 火曜 14:00~ ・心エコー 第1~4月、第2・4水曜 14:00~ ・中学生胃がん予防事業二次検査(要予約)	午前	2 診	3 診	2 診	2 診	2 診	・受付は11:00まで。 ・午前2診は火曜日以外紹介のみ。
		午後	2 診	3 診	3 診	3 診	3 診	
小児外科		午前	1 診	—	1 診	1 診	1 診	・受付は11:00まで。
外 科	・創治療 月~金曜 8:30~ 14:00~	午前	—	1 診	1 診	1 診	1 診	・午前のフリー外来受付は11:00まで。 ・火曜午後のフリー外来受付は14:00まで。 ・月曜と木曜はフリー外来なし。 ・火・水・金曜の予約のない方の診察は10:00~。
		午後		1 診	—		1 診	
心臓血管外科		午後	—	1 診	1 診	—	—	・出張医師による診察。
呼吸器外科		午前	1 診	—	—	—	—	・フリー外来受付は11:00まで。 ・月曜は第1・第3・第5のみ。 ・出張医師による診察。
		午後	—	1 診	—	—	1 診	
整形外科		午前	4 診	5 診	3 診	4 診	6 診	・紹介制。
形成外科		午前	—	1 診	—	—	1 診	・出張医師による診察。 ・予約制。
脳神経外科	・頭部外傷 9:00~ (予約診察・救急センター案内の方)	午前	1 診	1 診	1 診	1 診	1 診	・初診は紹介制。 ・木曜は10:00より1診体制。
皮膚科		午前	1 診	1 診	1 診	1 診	1 診	・紹介制。
		午後	1 診	1 診	1 診	1 診	1 診	
泌尿器科		午前	2 診	2 診	2 診	2 診	2 診	・水曜日は第2・4のみ2診体制。 ・但し、10時以降は1診体制。 ・フリー外来受付は11:00まで。
		午後	—	2 診	—	1 診	2 診	
産科婦人科	・母親学級(要予約) 第1、2、3、4水曜 13:00	午前	2 診	2 診	1 診	2 診	2 診	・水曜午前の予約診察は9:00のみ。 ・水曜日の緊急を要しない復診は受付なし。 ・母親学級は現在休止中。
		午後	2 診	—	—	—	2 診	
眼 科		午前	2 診	手術 1 診	2 診	2 診	2 診	・紹介制。
		午後	手術	手術 1 診	手術	2 診	2 診	
耳鼻咽喉科		午前	1 診	—	1 診	2 診	1 診 手術 1 診 外来	・紹介制。
		午後	検査	2 診	—	検査	—	
歯科口腔外科		午前	2 診	—	3 診	3 診	—	・火曜・金曜は手術日のため、緊急の場合は電話で確認。 ・紹介制。
		午後	3 診	—	3 診	3 診	—	
内視鏡センター		午前	胃内視鏡 胃瘻造設 大腸内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡 (第2・4) 大腸内視鏡 (第1・3)	胃内視鏡 胃瘻造設	胃内視鏡 内視鏡的治療 (第1・3)	・紹介制。
		午後	大腸内視鏡 ERCP 内視鏡的治療	気管支鏡	大腸内視鏡 (第2・4) 気管支鏡 (第1・3・5)	大腸内視鏡 ERCP 内視鏡的治療	大腸内視鏡 内視鏡的治療 (第1・3) 内視鏡診断日 (第1・3)	

… 予約診察
 … 予約と当日受付の診察

(2) 専門外来

令和4年7月現在

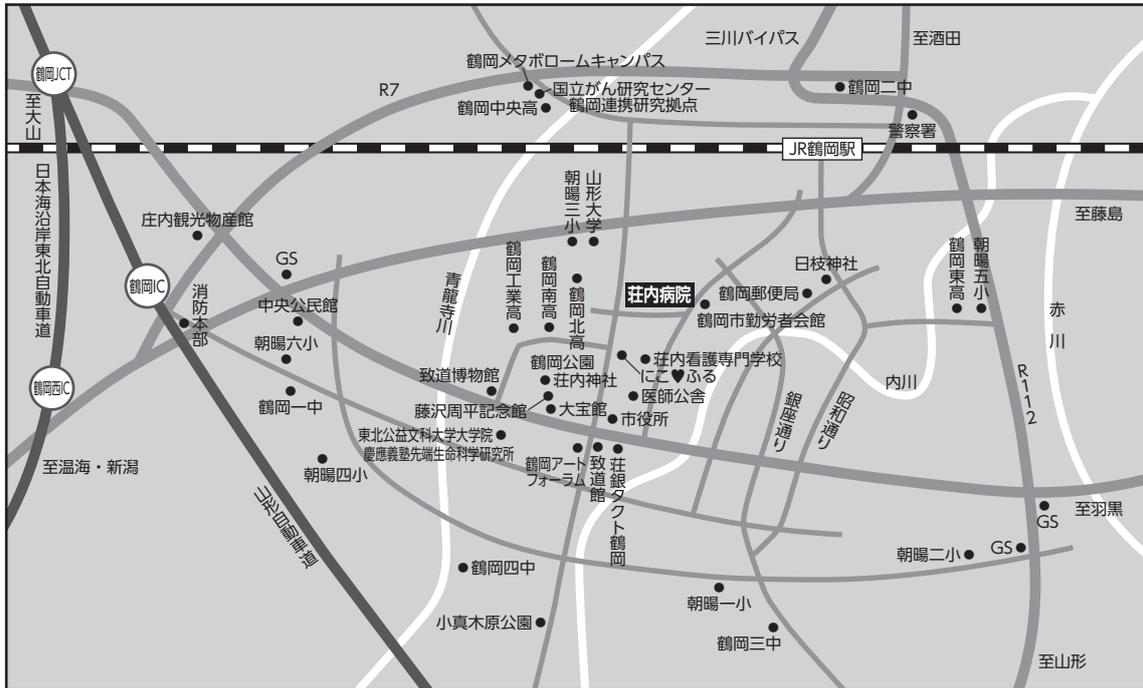
診療科		月	火	水	木	金	備 考
糖 尿 ・ 内 分 泌 外 来	午前	—	—	1 診	—	—	・受付は10:00まで。
ペ ー ス メ ー カ ー 外 来	午前	—	—	—	—	1 診	
呼 吸 器 検 診 外 来	午後	1 診 (呼吸器科)	1 診 (呼吸器外科)	—	1 診 (呼吸器科)	1 診 (呼吸器外科)	・月・木は内科。 ・火・金は外科。
が ん 相 談 外 来	午後	—	—	—	—	1 診	・毎月第1金曜のみ。 ・13:00～、紹介制。 ・出張医師による診察。
内 分 泌 外 来	午後	—	—	—	1 診	—	・第2・第4月曜のみ。
ペ イ ン ク リ ニ ッ ク 外 来	午前	1 診	—	1 診	—	1 診	・水・金曜は紹介制。
	午後	1 診	—	1 診	—	1 診	
緩 和 ケ ア 外 来	午前	1 診	1 診	—	1 診	1 診	・初診は紹介制。
	午後	1 診	1 診	—	1 診	1 診	
総 診 / 緩 和 ケ ア 外 来	午前	—	—	1 診	1 診	—	・初診は紹介制。 ・第2・第4のみ(確認要)。 ・14:00～(水のみ)。
乳 が ん 検 診 外 来	午前	—	—	1 診	—	1 診	・10:00～ (新患外来にて施行)
乳 腺 専 門 外 来	午後	1 診	—	—	—	1 診	・第2・第4月曜と第2または3金のみ(要確認)。 ・14:00～
リ ン パ 浮 腫 外 来	午後	—	—	—	1 診	—	・初診は紹介制。

(3) 看護ケア外来…受診後のケア外来

令和4年7月現在

診療科		月	火	水	木	金	備 考
フ ッ ト ケ ア 外 来	午後	1 診	—	—	1 診	—	
ス ト ー マ ケ ア 外 来	午前	1 診	1 診	1 診	1 診	1 診	
	午後	1 診	1 診	1 診	1 診	—	
産 褥 乳 房 外 来	午前	—	—	1 診	—	—	・緊急の場合は要相談。
	午後	—	—	1 診	1 診	—	
2 週 間 健 診	午前	—	—	—	1 診	—	
腎 代 替 療 法 外 来	午後	—	1 診	—	—	—	

		月	火	水	木	金	
放 射 線 画 セ ン タ ー	第一撮影室 (一般撮影)	一般X線撮影	一般X線撮影	一般X線撮影	一般X線撮影	一般X線撮影	
	第二撮影室 (一般撮影)						
	第三撮影室 (一般撮影)						
	第四撮影室 (乳房撮影)	一般乳房撮影	一般乳房撮影	一般乳房撮影	一般乳房撮影	一般乳房撮影	
		人間ドック・検診	人間ドック・検診	人間ドック・検診	人間ドック・検診	人間ドック・検診	
	第五撮影室 (骨塩定量)	予約・人間ドック	予約・人間ドック	予約・人間ドック	予約・人間ドック	予約・人間ドック	
	第五撮影室 (パントモ)	パントモ・セファロ	パントモ・セファロ	パントモ・セファロ	パントモ・セファロ	パントモ・セファロ	
	第六撮影室 (造影検査) (結石破砕)	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	
		予約患者	予約患者	予約患者	予約患者	予約患者	
	第八撮影室 (X線TV)	午前	各科随時	各科随時	各科随時	各科随時	各科随時
		午後					
	第九撮影室 (X線TV)	午前	各科随時	各科随時	各科随時	内科検査	各科随時
		午後					
	第十撮影室 (X線TV)		内視鏡センター	内視鏡センター	内視鏡センター	内視鏡センター	内視鏡センター
	一般アンギオ撮影室	午前	脳神経外科	放射線科	脳神経外科		放射線科
		午後					
循環器アンギオ撮影室	午前	循環器科		循環器科	循環器科		
	午後						
第一CT室 (16-A)	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	
第二CT室 (16-B)							
第一MRI室 (17)							
第二MRI室 (17)							
シンチカメラ室 (18)							
ライナック治療室 (19)	放射線治療	放射線治療	診察日・放射線治療	放射線治療	診察日・放射線治療		



ヒポクラテスの木の葉
《荘内病院のシンボルマーク》

鶴岡市立荘内病院

(発行／令和4年9月)

〒997-8515 山形県鶴岡市泉町4番20号

Tel 0235(26)5111 Fax 0235(26)5110

ホームページアドレス <https://www.shonai-hos.jp/>

E-メール(総務) soumu@shonai-hos.jp

